

講義名	アジア経済論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	辻 美代		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	23100

### 主題と概要

2010年、中国のGDPは日本を凌駕した。本講義ではアジア経済の新旧リーダーである日本と中国の関係を中心にアジア経済の発展を考える。

授業では先ず、東アジアにおける経済発展を投資・貿易を通じて、具体的には繊維ビジネスを通じた東アジアの経済発展を考える。繊維ビジネスとして取り上げるのは、一国の経済発展で最初に工業化されるのが繊維（アパレル）産業だからである。そして、かつての日本がそうであったように、現在、中国繊維（アパレル）企業はアジア諸国への直接投資が始まった。

授業で繊維産業はじめ中国の代表的な産業と企業を取り上げ、中国経済発展のダイナミズムを講義する。

### 到達目標

学生は、戦後「東アジアの奇跡」と欧米から驚嘆されたアジア経済発展の概略が分かるようになる。世界経済に大きな影響を持つ中国経済の発展が分かるようになる。アジアにおける相互依存関係が分かるようになる。

### 提出課題

### 評価の基準

- ・平常点（小テスト含む）・・・30点
- ・定期試験・・・70点

### 履修にあたっての注意・助言他

中国およびアジア地域に興味を持ち、テレビ・新聞・雑誌などを通じて関連情報を取得するようにしてほしい。

### 教科書

教科書は使用しない。

### プリント資料及び参考文献

小島麗逸・堀井伸浩編『巨大化する中国経済と世界』アジア経済研究所、2007年  
 佐々木信彰編『現代中国の産業と企業』晃洋書房、2016年  
 佐々木信彰編『転換期の中国の企業群像』晃洋書房、2018年

### 授業計画

1. 授業の主題とアジア経済の動向
2. アジアの発展と繊維ビジネス
3. ASEANとNIES
4. ASEAN共同体
5. 中国の改革開放政策
6. 中国WTO加盟
7. 中国の経済発展 - 「世界の工場」から「世界の市場」へ
8. 中間まとめと小テスト
9. 繊維産業の発展と企業
10. 繊維産業の発展と企業
11. 産業の発展と企業
12. 産業の発展と企業
13. 米中貿易摩擦
14. 中国経済の構造転換
15. まとめ

### 予習・復習

授業内で指示する参考文献を一読すること

### 備考